

# 飯田市立図書館子ども資料収集基準

平成 25 年 2 月 1 日 公布

飯田市教育委員会

## 1 主旨

飯田市立図書館資料収集方針に基づき、子ども資料収集基準を定める。

## 2 基本方針

- (1) 乳幼児から小中学生を対象にした資料を子ども資料とし、子どもの個性や発達段階を踏まえ、内容を慎重に検討し、収集する。
- (2) 子どもが読書の楽しみを発見し、読書習慣の形成と継続に役立つ資料、豊かなことばと想像力を育て、知識を広げることができる資料を収集する。

## 3 収集基準

### (1) 図書

- ア 子どもの自発的学習や課題などに応えられるよう、調べ学習のための資料を収集する。
- イ 対立する意見のある問題については、それぞれの観点にたつ資料を収集する。
- ウ 内容や記述が正確かつ客観的で、新しい事実や最新の情報を用いていること。
- エ 子どもの発達段階や興味に応じた資料を収集する。
- オ 子どもの知的好奇心を育て、多様な世界の姿に心を開くきっかけとなるものであること。
- カ 伝記の本は、単なる偉人伝ではなく、行動、業績を通して被伝者の生活や生き方を伝えていること。
- キ 性・誕生・身体的発達に関する資料は、科学的に正確で、人間の尊厳を守るように書いてあること。
- ク 技術・産業・芸術の本は、子どもが十分理解できるようわかりやすく書かれていて、実用性が高い資料であること。
- ケ 図版、図表、写真、目次、索引などが適切で、参考にした資料などが明記してあること。
- コ 職業選択や人生について思索するうえで参考になる資料、生きる力を醸成するような資料を収集する。
- サ 昔話は、残酷であるとか教育上・道徳上好ましくないという理由で元の話の削ったり書きかえたりしていないこと。また、再話が昔話の特徴を損ねていないこと。
- シ 長年読み継がれて評価の定まったものは、複数冊で収集する。
- ス 文学については、豊かな想像力や空想力を養い、子どもの視野を広げるもの、温かな感動を与え成長の糧となるような本を収集する。

### 【創作文学】

- ・ 文学性があり、子どもの知的、情緒的な経験を広げることができるもの。
- ・ 登場人物は作品の中で生き生きしていること。
- ・ 何人称で書かれていても、物語の世界に無理なく入りこめること。
- ・ 主題が一貫していてわかりやすいこと。
- ・ 真実らしさをもっていること。
- ・ 社会問題等を扱ったものは、人間への信頼を失わず、生きる力になるものであること。
- ・ ファンタジーは、現実から非現実への移行がスムーズに行われていること、また、空想世界が目に見えるように描かれていること。

### 【記録文学】

- ・ 正確な知識や経験に基づいて記述され、主題がわかりやすいこと。
- ・ 自然や科学への探究心を刺激し、子どもの視野を広げ深めるものであること。

### 【古典文学】

- ・ 子ども向けの古典名作は完訳版が望ましい。
- ・ ダイジェスト版は、原作の持ち味を保ちつつ、それ自体が文学の内容と質を備えていること。

### 【幼年文学】

- ・ 幼児から小学校低学年向けの文学を幼年文学と位置づけ、題材は身近なもので、その世界や経験を広げてくれるものを収集する。
- ・ 視点が一定していて子どもが主人公と一体化できること。
- ・ 筋はわかりやすく構成され、最後に読者を満足させる結末であること。

## (2) 絵本

絵本は子どもが最初に出会う本であり、生涯を通じた読書の基礎となる大切なものであることを認識し、質の高いものを収集する。

- ア 表現力が豊かで、子どもの想像力、空想力を養うものであること。
- イ 子どもが理解できる内容と表現で簡潔に描かれていること。
- ウ 一貫した文体で書かれ、日本語として美しい文章であること。
- エ 長年読み継がれて評価の定まったものは、複数冊で収集する。

### 【物語絵本】

- ・ 絵がストーリーを語っていること。
- ・ 絵と文の調和がとれ、一体となって構成されていること。
- ・ 絵としての芸術性があること。
- ・ 独創性があること。
- ・ 古典・名作等を無理に抄訳し、絵本化していないこと。

### 【科学絵本等】

- ・ 正確な知識に基づいていて、子どもの知的好奇心を満たすものであること。
- ・ 主題に一貫性があり、要点をきちんと書いてあること。

### 【昔話絵本】

- ・ 残酷であることや、教育上好ましくないという理由で、元の話を削ったり書きかえたりしていないこと。
- ・ 再話や語り口が昔話の特徴や形式を損ねていないこと。
- ・ 挿絵が、それぞれの昔話の持つ風土や雰囲気을伝えていること。

### 【赤ちゃん絵本】

- ・ 言葉が簡潔でリズムカルであり、心地よく響くこと。
- ・ とりあげる素材は身近なもので、生活体験に根ざし、その体験を広げてくれること。
- ・ 温かみを感じられる絵であること。
- ・ こわれにくく、図書館の利用に適したものであること。

(3) 紙芝居

- ア 紙芝居の“ぬく”という性質を十分に生かしたものであること。
- イ 絵が美しく、遠目でもわかるように線と色がはっきりしていること。

(4) その他

ア 郷土資料

- ・ 子どもの調べ学習に役立つよう、地域に関する資料を収集する。
- ・ 成人向け資料であっても、子どもの利用に適する資料は収集する。

イ 児童文学研究

- ・ 子どもの本と読書に関する資料を収集する。
- ・ 児童文学論、児童文学史、作品・作家研究、各種リストなどの収集に努める。

ウ その他

パンフレットや布絵本などの資料を、必要に応じて収集する。